

基本目標4 一人ひとりが学び、高め合うまち

- 主体的に学びを維持し、持続的に発展させることを目指します。
人生100年時代を迎え、文化的で豊かに、自分らしく生きることができるまちを目指します。
- 地域の歴史・文化を学び地域に愛着を持ち、次の世代へ受け継がれるまちを目指します。
- 誰もが生涯を通じスポーツに取り組める機会の充実を目指します。

3つのチャレンジ

継承	<ul style="list-style-type: none"> ● 公民分館等の活動を通じて地域の文化等を学び継承していく人材の育成 ● 地域の宝（ほんものの誇り）を守り、須坂らしさを継承 ● ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
進化	<ul style="list-style-type: none"> ● ICTをはじめ、自由な発想でより参加しやすい学習の機会の提供 ● 市民が主体的に取り組める場としての新しい公民館のあり方の検討 ● 官民連携による「まるごと博物館」構想の具現化
学びと行動	<ul style="list-style-type: none"> ● 学んだ者同士の連携と活動の拡大 ● 須坂市の文化・芸術の学びと継承、発展

基本 施策

6 主体的に学び合い、学びを生かすことができるまちづくり

施策12 多様な生涯学習の推進



施策の目指す姿

- 生涯にわたって学びたいときに学べる機会と場所があり、市民同士が互いを高めあえるまちを目指します。

【成果指標】

指標の種類	指標名	現状値（年度）	目標値（2030年）
市民意識指標	「生涯学習の機会充実」の満足度（%）	33.4（2025）	35.0

◆現状と課題

- ☞ 市民が明るく豊かな日常生活を送るためには、心身共に健康で、生きがいを持ち、生涯にわたり、時代に沿った学習をしていくことが大切であることから、人生100年時代における学びの場の創出をしていく必要が考えられます。

- ☞ 各種講座等において、内容や参加者が固定化している傾向が見受けられることから、市民が求めている時代に沿った魅力的な講座等を企画し、様々な年代の人々が地域公民館等の社会教育施設に足を運んでもらい、学んだことを通してまちづくりに生かしていくことが重要と考えます。近年、公民館等の利用者は減少しています。定年延長などに加え、趣味の多様化、オンライン化などライフスタイルの変化によって、年齢層が高齢となり、活動の低下、固定化なども要因の一つと考えられます。

◆施策の取組方針

- ☞ 地域住民等のニーズやライフステージに合わせた生涯学習機会の充実を図ります。
- ☞ 市民の学びを支援し、「自ら学ぶ」意識の向上を図ります。
- ☞ 地域コミュニティの拠点としての地域公民館等の機能充実を図ります。

◆主な取組内容

生涯学習推進課

取組項目	具体的な内容
学習機会の拡大と充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 社会情勢に対応し、市民のニーズを的確にとらえた魅力ある講座の実施 ◇ 社会教育主事、社会教育士の育成と活用 ◇ 他部署との連携強化・アンケートの実施、地域住民との対話による情報収集 ◇ 地域づくりに携わっている人々と社会教育委員との連携により、郷土に生まれ育ったことや、住んでいることに誇りを持つ、心豊かな人づくりによる事業展開 ◇ SNSの充実による関連情報の一覧性の向上と情報発信強化
学習の成果を発表する場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 活動の励みとして、公民館等で発表の場を提供し、各講座修了者が講師（インストラクター）として積極的にまちづくりに参画する活動を推進 ◇ 地域公民館等での展示及びロビースペース等の活用PR ◇ 学んだことを実践に生かしていく活動の支援
地域づくりの拠点としての公民館の再構築	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 住民が気軽に立ち寄れる居場所づくりの提供 ◇ 空き教室を活用した子ども学習室・コミュニティスペースの開放 ◇ 住民同士が交流を深め、地域の歴史・文化等を伝承していく地域コミュニティ機能の充実

【プロセス指標】

指標名	現状値（年度）	目標値（2030年）
生涯学習センター・地域公民館等の延べ利用者数（人）	147,192（2024）	160,000
出前講座の延受講者数（人）	5,077（2024）	6,000

◆共創のまちづくりに向けた各主体の役割

主体	期待される役割
市民	生涯を通じて学びたいこと、必要なことを積極的に学びます 学んだ知識・経験を地域社会の中で生かします
企業	多様な学習メニューを提供します 市主催生涯学習講座に対する支援をします
活動団体	活動内容及び学びの成果発表・発信をします 生涯学習機会を提供します 学んだ知識・経験を次世代へ伝承します

7 — 文化・芸術・スポーツ活動
に熱心なまちづくり

施策13 文化・芸術・交流活動の推進と継承



施策の目指す姿

●地域の歴史・文化や芸術を市民が学び、親しみ、活躍するまちを目指します。

【成果指標】

指標の種類	指標名	現状値（年度）	目標値（2030年）
市民意識指標	「生涯学習・文化芸術・歴史を大切にしたまちづくりの推進」の満足度（%）	36.5（2025）	50.0
市民取組指標	「生涯学習・文化芸術に親しみ、地域のみなさんと一緒に活動に取り組んでいる」人の割合（%）	20.1（2025）	30.0
市民取組指標	「地域の伝統行事に参加するなど、文化の継承に取り組んでいる」人の割合（%）	24.5（2025）	30.0

◆現状と課題

- ☞ 市域のあらゆるところで文化財に触れ、それらを通じて地域の文化を学ぶことのできる仕組みの実現に向け、その核となる機能分散型総合博物館を他施設や学校・団体等と連携させていく必要があります。
- ☞ 須坂市須坂伝統的建造物群保存地区が国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されたことに伴い、関係主体等と連携しながら、歴史的町並みを生かしたまちづくりの推進を効果的に進める必要があります。

◆施策の取組方針

- ☞ 多様な文化を学び育て、交流する創造的なまちづくりをめざし、機能分散型総合博物館、他の文化施設、教育施設などとの連携を図り、まるごと博物館構想を推進します。
- ☞ 「重要伝統的建造物群保存地区」をはじめとする歴史的な町並みを市民共有の財産として後世に継承する気運を高めるとともに、文化的環境の向上と活力あるまちづくりを推進します。

◆主な取組内容

文化スポーツ課

取組項目	具体的な内容
全市をフィールドとした取組の展開	<ul style="list-style-type: none"> ◇歴史的、文化的資源を学ぶことにより更なる文化を育て、文化が人を育てるという循環により、まちとしての価値を高める「まるごと博物館構想」を推進 ◇文化芸術振興を「ひとづくり」「まちづくり」の核ととらえ、市民や地域、企業、各種団体との連携による共創の取組の推進
文化財保存・活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇デジタルアーカイブ「須坂のまるごと博物館」の充実・情報共有の強化 ◇郷土史資料の収集・活用と郷土史研究家の育成 ◇重要伝統的建造物群保存地区を中心とした、歴史的町並みを生かしたまちづくりの推進と住民の意識啓発 ◇補助金をはじめとする国県等の支援を利用した、伝統的建造物の保存・活用
文化芸術活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ◇様々な文化・芸術に接する機会の充実 ◇文化芸術を身近に感じることのできる仕組みづくりの推進 ◇文化・芸術活動団体及び伝統芸能保存団体の支援

【プロセス指標】

指標名	現状値（年度）	目標値（2030年）
博物館等の学習支援回数（回）	40（2024）	50
メセナホール入館者数（人）	66,767（2024）	75,000

◆共創のまちづくりに向けた各主体の役割

主体	期待される役割
市民	子どもの頃から、豊かな文化・芸術に親しむとともに、自ら「創り、支え、伝え、鑑賞する」活動を通じ、生涯にわたり生活の中で文化・芸術を楽しみ、心豊かな暮らしを創造します
企業	従業者の心豊かな生活と創造性の向上のため、地域文化のパートナーとして、文化芸術の振興や継承を積極的に支援・協力します
活動団体	主体的な活動を通じて、専門性や技術の向上に努めるとともに、発表会や体験講座などを積極的に開催し、市民が文化・芸術に親しむ主体となります

施策14 ▶ スポーツ活動の充実



施策の目指す姿

●誰もがスポーツやニュースポーツ等を通じ、健康で生き生きと学び挑戦する心を育み、地域の連帯感や絆、活力が醸成されるまちを目指します。

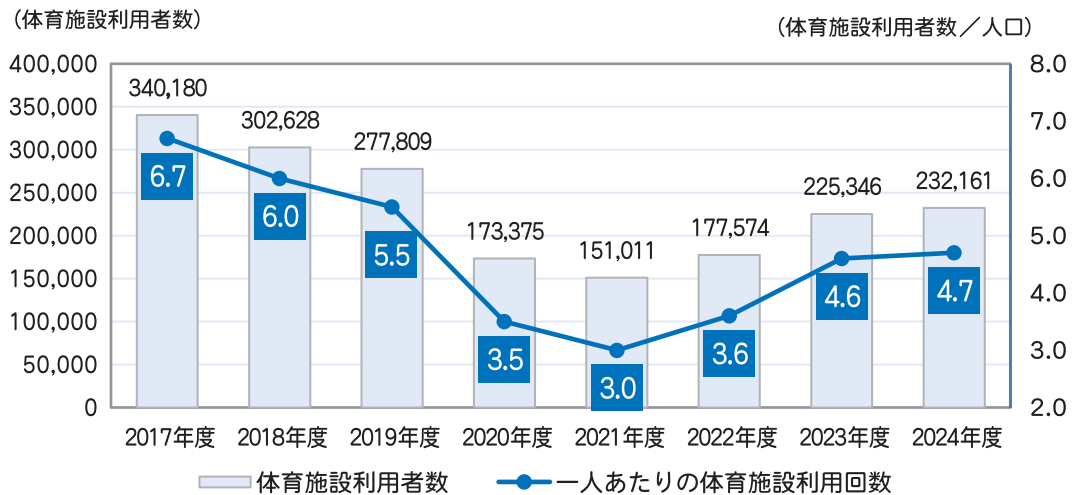
【成果指標】

指標の種類	指標名	現状値（年度）	目標値（2030年）
市民取組指標	「日頃スポーツをする・観る・関わっている」人の割合（%）	36.2（2025）	37.0

◆現状と課題

- ☞人口減少やライフスタイルの変化に伴い、スポーツ団体の会員の減少や体育施設の利用者数の減少などにみられるように、スポーツに親しむ人が減少傾向にあります。
- ☞施設の老朽化に伴う維持管理費等の財源の確保が必要です。

体育施設利用者数



出典：須崎市文化スポーツ課

◆施策の取組方針

- ☞ライフステージに応じたスポーツ活動及び健康と絆づくりのため、誰もが参加できるニュースポーツの普及を行います。
- ☞プロスポーツクラブとの連携により、スポーツ観戦やスポーツ活動のきっかけづくりを行います。
- ☞子どものころからスポーツに親しむ環境を提供します。
- ☞施設の必要性を踏まえ、修繕を基本とした整備方針のもと、安心安全な維持管理を行います。

◆主な取組内容

文化スポーツ課

取組項目	具体的な内容
スポーツ事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇子どもがスポーツを習慣化するための教室等の提供 ◇ライフステージや体力等に応じて、誰もが継続できるニュースポーツを含めたスポーツ活動の推進 ◇多くの市民が参加しやすい大会の開催 ◇国民スポーツ大会の地元開催に向けた対応及び開催種目の普及
指導者の育成	◇スポーツ推進委員等の活動支援及び人材育成
スポーツの活動支援	◇スポーツ振興を行う団体等への支援
スポーツ施設の維持管理	◇スポーツ施設の安全点検及び修繕による維持管理
学校体育施設の有効利用	◇学校体育館やグラウンドの共同利用の促進

【プロセス指標】

指標名	現状値（年度）	目標値（2030年）
子ども向けスポーツ教室の参加人数（人）	1,191（2024）	1,200
市民一人あたりのスポーツ施設利用回数（回）	4.7（2024）	5.0

◆共創のまちづくりに向けた各主体の役割

主体	期待される役割
市民	子どもの頃からスポーツに親しみ、生涯スポーツに関わります
企業	従業者及び地域のスポーツ活動を支援します
活動団体	主体的に活動に取り組みます